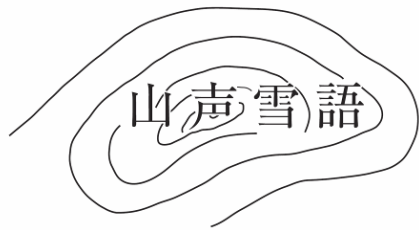


京交山岳部報

例会予告 (2019年6月～2019年7月)

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2807回 京都府下 一斉清掃登山 Rコース 稲荷～伏見桃山城	6月2日(日) 集合 京阪伏見稲荷駅 AM9時	岡田茂久 方山宗子	稲荷～伏見桃山城
備考 今年から担当コースが(稲荷～伏見桃山城)に変更になりました。 島津WV部, 京都熊笹会との合同作業になります。皆様のご協力をよろしくお願ひします。 手袋, ゴミ袋は用意しています。火ばさみを持参頂ければ楽です。雨天決行です。 収集したゴミは伏見桃山城で集積します。 (参考) 京阪日曜ダイヤ 四條祇園発 8:45(準急・淀屋橋行)～伏見稲荷駅着 8:54 JR 日曜ダイヤ 京都駅発 8:52(奈良行普通)～稲荷駅着 8:57(JR 利用の場合は必ず担当者まで連絡のこと)			
第2808回 紀州 真妻山 (1等△523.4)	6月8日(土) 集合 参加者で調整	井戸澄夫	御坊IC～不老の橋～大滝川 登山口・・・真妻山往復
備考 天然鮎を賞味し, 南部高梅を購入します。			
第2809回 点名「中之庄」 (2等△448.1)	6月6日(木) 集合 参加者で調整	吉田 武	京都東IC～新名神信楽IC～ R307/422/R25 五月橋～春日～ 中之庄山登山口・・・山頂往復 ～帰路
備考 日帰り装備			
第2810回 京交山岳部創立 70周年記念登山 伊吹山 (1等△1377.3)	7月20日(土) 集合 竹田駅西口 AM9:00	吉田 武 岡本義弘 方山宗子	京都南IC～関が原IC～伊吹山 ドライブウェイ～終点駐車場 ・・・伊吹山往復～帰路
備考 伊吹山上で70周年記念セレモニーをします。雨天予報の場合は前日に連絡します。			
6月の集会 日時 6月10日(月) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズ カフェ)		7月の集会(70周年記念集会) 日時 7月11日(木) 18:30～ 場所 職員会館「かもがわ」(雑報参照)	



70周年

今年京交山岳部創立70周年である。昭和24年(1949)7月に京都市交通局の山岳部が誕生した。丁度その年の10月に私は生まれた。何か因縁を感じるところである。

誕生間もない京交山岳部は終戦後の登山ブームに乗って大きく成長する。公営交通事業自体も絶頂期であった。組合とタイアップして登山大会・スキー大会を開催して局からも多額の助成を得た。組合員証を見せれば日本全国ほとんどの鉄道が乗れるという特典もあった。山岳部員は最盛期約170名を数えた。こうした威勢のいい時代は20年ほど続いたが、公営交通事業の斜陽化に歩調を合わせるかのように、山岳部も弱体化していった。

私が京都市交通局に入ったのは昭和49年(1974)であり、田中角栄の列島改造ブームの景気よかつたときであるが、交通局は急激なモータリゼーションの影響で経営が傾き、財政再建団体になっていた。京都市は都市交通対策として地下鉄建設を始めた時で、いいかげんな学生生活を送り既に同棲とかしていた小生は、大量採用の土木技術職員の一人として採用された。地方公務員で気楽にやろうという下心はあったが、地下鉄建設の仕事も一応真面目にやったつもりである。しかし山登りと囲碁は学生時代からの趣味で仕事以上に好きであった。仕事は出先の地下鉄建設事務所に6年ほどいたので、当初は交通局に山岳部があると知らなかった。その後、本局に勤務したときに山岳部の存在を知ってさっそく入部したのが昭和55年(1980)である。その後は例会を中心に月に1、2回のペースで山に登り続けてきた。先輩部員には毎週登ってる方もおり、すごい馬力だなと感心したものである。入部以来40年ほど経ち、日本全国、世界の山も含めてたくさん登って来た。共に登っていただいた方々には既に亡くなられた方々もいるが、楽しい思い出ばかりで、山登りを続けていて本当によかつたと思う。

現在、京交山岳部は現役部員約10名、OB部員約20名で、実際に山に登っているのはその半分もないという寂しい状況にある。部報の発行も今春から2ヶ月に1回となった。こうした状況は職域山岳会に共通の悩みである。それでも70周年記念事業として、記念登山、記念集会、記念品、記念誌と企画している。せめて70周年記念事業をやり切ってけじめをつけたいと思うが。

(2019. 5. 22. 記 S. I.)

【第2805回例会】 令和元年5月9日(木)

点名「滝之原村」 2等三角点 473.4m

吉田 武

車のナビを「名張市滝之原」にインプットしたら95kmと距離を示した。京都市内から舞鶴市までの距離である。新名神の信楽ICで降りてR307からR422の信楽「笹ヶ岳」の横を通り桜峠を越えた何時ものルート、伊賀上野市に入り、R368名張街道を通り「桔梗が丘」から滝ノ原の地区に入った。

県道に入ってから地図と睨めっこをしながらの林道探し、三角点に登っている林道を少し歩いたが、とても歩けないので、三角点の反対の林道の入り口に車を止めて、登ったら、三角点のピー

クを巻くようにして林道がついているので、半周程歩いたが、諦めて元に戻り、何とか比較的なだらかな斜面を山勘で登った。疎林だったので、登りやすく 30 分程で点名「瀧乃原村」の 2 等三角点に着いた。こんもりした山頂で、写真だけ写して下山し、次の山「茶臼山」を目指した。

名張市から奈良県の室生に抜ける県道の「笠間峠」を越える県道が狭いし、悪い道、愛車が痛みすぎるが、何とか峠を越えた。奈良県に入った途端に道幅が広くなり地図と県道が、合わなくなっているが、何とか林道の入り口を探したが見つからず、時間的に無理なので、仕方なく帰路についてた。

【参加者】他 1 名



点名「瀧乃原村」2 等三角点



「瀧乃原村」山頂にて

【第 2806 回例会】

山岳連盟自然保護委員会主催「府民新緑観察会-花背尾根」

岡田 茂久



2019 年 5 月 19 日（日）、京都府山岳連盟自然保護委員会主催の府民新緑観察会-花背尾根の報告。

今回は久しぶりの市外北山に出かけての新緑観察会である。7:30 に出町柳駅に集合。京都バス広河原行は 9:50 発であるが、早めに集合し全員乗車に備えたが、増発便が可能となり余裕の全員着席で、楽々と目的地の旧花背峠下停留所まで到達できたのは有難かった。

旧花背峠でオリエンテーションということで石畳みの道を約 10 分。懐かしい道だ。その昔峠越えて花背のスキー場に行くのに通った道である。

峠の地蔵さん前に集合する。天候は薄曇りで天気は 15 時ぐらいまでは降らないとの予報である。

今回から山岳連盟自然観察会は従来とは異なり、最近の学校教育の方針に合わせ「アクティブラーニング＝講師の一方的な説明講義を聞くのではなく、自ら積極的に仲間と深く考えながら課題を解決する力を養い勉強していく」という方式を取り入れる試験的な第一回目の観察会である。

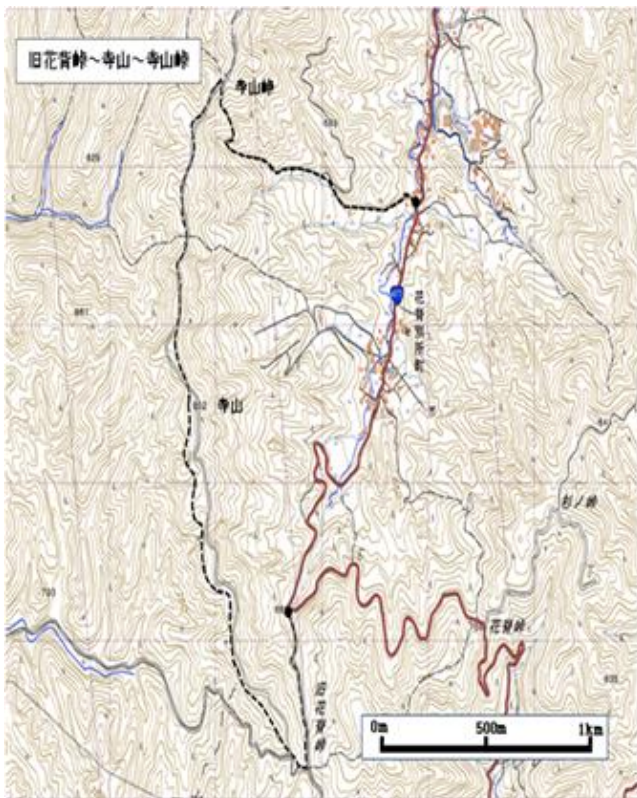




アオダモ



山ツツジ



委員長及び本日の担当指導員である中島委員から「アクティブラーニング」の説明があり，自然保護委員を中心に数グループに分かれ参加者は観察コースを歩きだした。

当初は「アクティブラーニング」ということに戸惑っていた参加者は，しばらくで自発的にコースの樹木等を観察し，メモを取り出し記録を始めたのはさすがであった。あちこちで講師を呼ぶ声が聞こえ，質問が活発な質問が飛び交う。

旧花背峠から寺山（P862）を経て寺山峠に至る南北に連なる尾根には新しく林道が開設され，それと並行した広い踏跡が林道と時には交差しながら続いている。所々アスナロやモミが混じった杉・檜の植林が現れ，栗，椎，コナラ，ミズナラ，ソヨゴ，ハウノキ等の高木。タカノツメ，リョウブ，コシアブラ，山ツツジ等の低灌木が生育している。以前には尾根付近に繁茂していた笹は全て無くなり，見通しはすこぶる良好で，尾根周辺は何処でも気ままに歩けるような状況である。

所々に見かけるガマズミ，アオダモ等の白い花，山ツツジの朱色の花はとりわけ見事であった。

アオダモは花期は 5-6 月。白い小さい花の集合を作る。雨が降ると樹皮が緑青色になり，樹液が青色の塗料になることから，「アオダモ」という名前がつけられた。庭木にも好まれ，硬式野球の木製バットの材料としても知られる。

ガマズミは花期は 5-6 月。白い小さい花の花序を作る。晩夏から秋にかけて 5mm 程度の果実をつけ，食用となる。果実は赤く熟し，最終的に晩秋の頃に表面に白っぽい粉をふき，この時期がもっとも美味になる。

ツツジには多くの種類があり，「ミツバツツジ」「ヤマツツジ」等の他，「シロヤシオ」「アカヤシオ」「ミヤマキリシマ」のように，花名だけではツツジかどうか分からないもの，「どうだんつつじ」等はスズランの様な花形をして

いる。花色もピンクのほか，赤色，アカヤシオなどの赤紫の花，シロヤシオのように真っ白の花，オレンジ色のレンゲツツジなどバラエティに富んでおり，種類は二千種を超える。

寺山（P862）頂上で昼食としたが，風も出てきて気温は思いがけず低くなり，パラパラと雨滴が当たり出したが，心配するほども無く一時的なもので僥倖であった。

寺山峠で針葉樹（スギ，ヒノキ，アスナロ）の樹葉と実の見分け方，旧花背スキー場上部の林道にて総括の後に現地で解散となったが，帰途の京都バスは増発便は無く超満員で，大人数で北山奥に入るリスクを思い知らされた山行であった。

【参加者】一般・岳連所属団体等 26 名 自然保護委員 12 名 京交山岳部参加者 岡田

例会報告(まとめ)

例会 No.	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2805	点名「滝之原村」 (2等△473.4)	晴れ	令和元年 5月9日(木)	吉田 武	他1名	別稿詳報
2806	府民新緑観察会 花背尾根 (山岳連盟自然保護委主催)	曇り	令和元年 5月19日(日)	岡田茂久		別稿参照

雑 報

△△△ 5月の集会

日 時 5月15日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 吉田, 方山, 岡田(茂), 大槻, 森本, 井戸 6名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告, 70周年記念事業ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

京都山岳, 趣味の登山, 比良山岳, 木雞

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い, 部報の発送先, 発送方法に変更がある場合は, 必ず部報発送担当者(松田)まで連絡してください。

※パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方はパソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 部費の徴収について

部費の徴収方法について現在検討中です。そのため今年度の部費については当面徴収せず, 山岳部の活動は内部留保金で運営していきます。既に納入された方については別途返却いたしますので暫くおまちください。

△△△ 京交山岳部創立70周年記念集会 兼7月集会のお知らせ

日 時 7月11日(木) 18:30～
場 所 職員会館 かもがわ (位置図参照)
会 費 山岳部で負担
担 当 松田誠二
堀田 剛
井戸澄夫
備 考 参加希望者は7月1日(月)までに必ず担当者へ連絡をお願いします。



平成30年度 京交山岳部 総会報告

平成31年3月20日(水)18:30より「職員会館かもがわ」において、平成30年度の総会を開催しました。

【出席者】(敬称略)	松田, 岡本(義), 方山, 吉田, 岡田(茂), 大倉, 大槻, 鷺見, 森本, 井戸	10名
司 会	松田副部長	
乾杯音頭	森本	
議 長	岡本(義)副部長	
書 記	松田副部長	

議 事 次 第

(報告担当)

1. 平成30年度 山岳部事業報告 (松田副部長)
2. 平成30年1月～12月 山岳部活動報告 (松田副部長)
3. 平成30年1月～12月 山岳部活動表彰 (松田副部長)
4. 平成29年度 山岳部会計決算 (松田副部長)
5. 平成30年度 山岳部会計予算 (松田副部長)
6. 平成31(令和元)年, 令和2年度山岳部役員改選 (松田副部長)
7. 年間計画 (松田副部長)
8. 京交山岳部70周年記念事業の概要 (松田副部長)
9. その他
平成30年度日山協山岳共済会
山岳遭難・捜索保険について (井戸前部長)

1. 平成30年度 山岳部事業報告

平成30年度(1月～12月)の活動は、まず例会については、計画23回に対し、実施19回、中止4回でした。例会の延べ参加者は、63名で前年度(51名)に比べ12名増加しました。例会実施数20回に対して1例会当りの参加者3.3名は前年度(2.6名)に比べ0.7名増加しました。

次に、集会の延べ参加人数は104名で前年度(102名)と2名増加しました。集会の参加メンバーは毎回ほとんど同じで固定されています。

例会及び集会の延べ参加者が少し増加しました。この調子で次年度も続いていけばと思います。体力的に例会に参加できなくなっても、毎月顔を合わせることが大切だと思いますので、できるだけ参加していただくよう願います。

部員数につきましては、1月末現在で32名です。現役11名、OB21名とOBの占める割合が依然大きいです。

今年は元号も改められ、我が部は創立70周年を迎え、記念山行などの事業についても、本日の総会の議事にあがっています。本日総会をもって、清水が山岳部長を12年間務めさせていただいたこととなります。その間、部員の皆さんから多大なご支援をいただき、運営してこられました。誠にありがとうございました。

また、皆さまがますます元気に末永く登山を続けられますように祈り、現役部員とOB部員がこれまでと変わらず協力して運営していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしく願いいたします。

2. 平成30年1月～12月 山岳部活動報告

<部員数> 31名 (平成31年3月20日現在) (現役10名, OB21名)

<例会>

- ① 第2775回～第2797回まで 計画23回, 実施19回, 中止4回
- ② 全例会の延べ参加人員 63名 (現役12名, OB51名)
(部員以外を含めると70名)
- ③ 一例会当たりの平均参加人数 3.3人 (部員以外を含めると3.7人)
- ④ 例会に1回でも参加した部員 14人 (現役3名, OB11名)
- ⑤ 参加者が多かった例会
初登山 (鷲峰山) 9名, 坂井氏・渡邊氏追悼登山 (大文字) 10名

<集会>

平成30年1月～12月 実施12回

- ① 全集会の延べ参加人数 104名 (内, 新年会15名, 総会10名)
- ② 一集会当たりの平均参加人数 8.7名 (新年会, 総会を除くと7.9名)
- ③ 集会に1度でも参加した部員数 19名 (現役4名, OB15名)

<部報投稿> 平成30年1月～12月 発行12回

- ① 全部員の延べ投稿数 33稿 (内, 例会23稿)
- ② 部報投稿者数 7名 (現役2名, OB5名)
- ※ 例会, 集会, 部報投稿に1回以上参加した部員数 20名 (現役5名, OB15名)

3. 平成30年1月～12月 活動表彰

	(1) 例会 参加	(2) 集会 参加	(3) 部報 投稿	(4) 総合	例 会	集 会	投 稿			
11	井戸澄夫	12	吉田 武	10	吉田 武	10	12	10		
10	吉田 武	11	清水康裕	○ 7	山下幸宏	○ 26	井戸澄夫	11	9	6
7	岡田茂久	11	岡田茂久	6	井戸澄夫	○ 23	岡田茂久	7	11	5
○ 7	方山宗子	○ 11	和田良一	5	岡田茂久	21	清水康裕	7	11	3
○ 7	清水康裕	10	方山宗子	3	清水康裕	17	方山宗子	7	10	0
○ 5	岡本義弘	○ 9	大槻雅弘	1	大槻雅弘	11	山下幸宏	3	1	7
○ 4	鷲見壽末子	9	井戸澄夫	1	岡本義弘	11	和田良一	0	11	0
3	山下幸宏	○ 8	森本清一			11	岡本義弘	5	5	1
2	堀田 剛	○ 7	大倉寛治郎			11	大槻雅弘	1	9	1
2	岡本 勇	5	岡本義弘			9	森本清一	1	8	0
2	大倉寛治郎	2	鷲見壽末子			9	大倉寛治郎	2	7	0
1	大槻雅弘	2	松田誠二			6	鷲見壽末子	4	2	0
1	森本清一	1	田村正弘			3	岡本 勇	2	1	0
1	田村正弘	1	山下幸宏			2	堀田 剛	2	0	0
		1	岡本 勇			2	松田誠二	0	2	0
		1	松浦健一			2	田村正弘	1	1	0
		1	木原 滋			1	木原 滋	0	1	0
		1	小森 浩			1	小森 浩	0	1	0
		1	山口雅直			1	山口雅直	0	1	0
						1	松浦健一	0	1	0

- ※ 各部門で上位の方（○印の付いた方）を表彰し、図書カード2,000円を贈呈します。
- ※ 上記の他に、松田副部長に特別表彰(図書カード5,000円)を贈呈します。

4. 平成30年度 山岳部会計決算（案）

平成30年度京交山岳部会計決算					
収 入		金 額	支 出		金 額
一 般 会 計	部費	97,000円	助成金	109,500円	
	(内 訳) 29名分				
	○B 4,000円× 10名	40,000円	会議費	32,552円	
	3,000円× 11名	33,000円			
	現役 3,000円× 8名	24,000円	部報代	23,016円	
			通信費	41,547円	
			ホームページ運営費	2,770円	
	補助金	25,850円	岳連会費	26,080円	
	(内 訳)		表彰費	29,000円	
	市職員共済組合	25,850円	慶弔費	10,000円	
		備品・消耗品	0円		
	遭難対策積立金会計繰入	151,615円			
合 計		274,465円	合 計	274,465円	
遭 積 難 立 対 金 策 会 計	前 年 度 繰 越 金	1,326,730円	一 般 会 計 繰 入	151,615円	
			遭 難 対 策 費 用	31,968円	
	利 息	10円	次 年 度 繰 越 金	1,143,157円	
	合 計	1,326,740円	合 計	1,326,740円	

5. 平成31年度 山岳部会計予算(案)

	平成31年度京交山岳部会計予算			
	収 入	金 額	支 出	金 額
一 般 会 計	部 費	102,000円	助成金	110,000円
	(内 訳) 30名分			
	OB 4,000円× 12名	48,000円	会議費	30,000円
	3,000円× 8名	24,000円		
	現役 3,000円× 10名	30,000円	部報代	30,000円
	助成金	25,000円	通信費	42,000円
	(内 訳)			
	市職員共済組合	25,000円	ホームページ運営費	2,770円
			岳連会費	26,080円
			表彰費	24,000円
遭難対策積立金会計繰入	350,000円	備品・消耗品	10,000円	
		70周年記念事業	200,000円	
		予備費	2,150円	
	合 計	477,000円	合 計	477,000円
遭 難 対 策 積 立 金 会 計	前 年 度 繰 越 金	1,143,157円	一 般 会 計 繰 入	350,000円
	利 息	10円	次 年 度 繰 越 金	793,167円
	合 計	1,143,167円	合 計	1,143,167円

6. 平成31(令和元)年度, 令和2年度 山岳部役員改選

(本部役員)

部長	清水康裕	(休部中)
副部長	松田誠二	(部長代行)
事務局	堀田 剛	
会計	松田誠二	
部報担当	井戸澄夫	
部報発送	松田誠二	
ホームページ担当	松田誠二, 山下幸宏	

(企画運営委員)

清水康裕, 岡本義弘, 松田誠二, 井戸澄夫, 吉田 武, 方山宗子,
堀田 剛, 山下幸宏

(支部委員)

交通局	松田誠二
市役所	清水康裕 (休部中)
O B	吉田 武

(山岳連盟派遣役員)

理事	清水康裕 (休部中)
評議員	堀田 剛
遭難救助隊員	岡本義弘

(山岳連盟派遣予定)

自然保護委員	岡田茂久, 方山宗子 (会計)
京都一周トレイル委員	岡田茂久

7. 平成31（令和元）年度 山岳部年間計画

月	日	山 行	行事とインドアー	備 考
4		(点名)鳥羽上村		長浜市
	12~14	冠山3等1256.6m	能郷神楽見学	岐阜県 根尾能郷
5		(点名)滝の原村2等473.4m	(点名)奈垣4等424.2m	名張市
	19	春の自然観察会	新緑観察会	
6	2	京都府下一斉清掃登山		
		(点名)中之庄村2等448.1m		山添村
		真妻山		南紀
7	11		70周年記念集会	「かもがわ」
	20	伊吹山1等1377.3m	70周年記念登山	ドライブウェイより
8		夏山大会		
9		部子山		福井
10	6	自然観察会	キノコ観察会	
		一乗山(点名)星峠704.7m		福井市
				70周年記念誌発行
11		段ガ峰		播州
	24	秋の自然観察会	紅葉観察会	
12				
	14~15	納山祭 (点名)城山	猪ノ口山	丹波市春日町黒井
1		初登山・牛松山(点名)金毘羅	629. 0m	亀岡市
2		柵池スキー	柵池ベルクハウス	小谷村
	23	冬の自然観察会	野鳥観察会	
3		残雪の北山		北山
			総会	職員会館かもがわ

8. 京交山岳部70周年記念事業の概要

1 記念登山

目的地 伊吹山

日 程 2019年7月20日(土)

山頂でセレモニー

担当者 吉田, 山下

2 記念集会

日 程 2019年7月11日(木) 午後6時半

場 所 職員会館「かもがわ」

担当者 松田, 堀田

3 記念品

品 目 LEDヘッドライト

担当者 方山, 岡本

備 考 担当者で具体的に選定する。

4 記念誌

部報の70周年記念号を出す。(2019年10月頃発行)

内 容 ・70年の活動年報

・部員各位の文章(回想, 意見, 等)

・記念集会での一言

・70周年記念登山の写真, 65周年記念登山写真, 等

・部員名簿

担当者 井戸, 松田

部 員 名 簿

2019年4月1日現在

現役部員(50音順)

足立公弘 井上恭彦 大野滋久 清水康裕 堀田 剛 松浦健一 松田誠二

室谷和彦 山岡昭弘 山下幸宏

OB部員(50音順)

石川かず榮 井戸澄夫 大倉寛治郎 大槻雅弘 岡田茂久 岡本 勇 岡本義弘

方山宗子 桂 豊 木原 滋 小森 浩 澤井佳三 篠田勝美 竹村芳廣

田村正弘 廣瀬光太郎 森本清一 山口雅直 吉田 武 鷺見壽末子 和田良一

《新入部員募集中》

令和元年6月1日

京都市右京区太秦下刑部町18

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>